

自衛隊からの募集案内

届いていませんか？



小田桐たかし

日本共産党市議会議員

安倍内閣が集団的自衛権の行使容認を「閣議決定」した7月1日。その後、全国各地で、防衛省・自衛隊から募集案内が届けられています。高校生や保護者から「『召集令状』が来た」と不安の声があがっています。流山市ではどうなっているのでしょうか？

H4・H8年生まれの 2763人分を提出

小田桐たかし市議の調査によれば、今年1月24日、H4年（1992年・今年22才）とH8年（96年・今年18才）生まれの2763人分を住民基本台帳から抜き出し、流山市役所から自衛隊へ名簿が提出されています。

名簿提出は『異例』

住民基本台帳の閲覧は、公共性の高い場合に限り、不当な目的に利用される場合は閲覧が断られます。しかも、名簿を書き写す場合は、一人ひとり手書きで写すこととなっています。実際、一昨年度までは自衛隊から2名が来庁し、閲覧・一部名簿の書き写していました。

しかし昨年度は、県から『異例』の協力依頼もあり、市が名簿そのものを提出するという『異例』の扱いです。

安倍内閣は早期退陣を

自分の知らない間に、市役所から自衛隊に名簿が渡り、募集案内が届けられ、いずれは強制？…こんな社会を誰が望んでいるのでしょうか。

昨年末、国会で強行した『秘密保護法』に続き、解釈改憲：安倍内閣は、歴代の自民党政権下でも異質な歴史観を有し、戦争できる国づくりへの具体化を急いでいます。早期退陣を求めましょう。